

大阪大学経営協議会（令和6年度 臨時）議事要旨

日 時 令和6年12月16日（月）10時00分～11時05分

場 所 オンライン開催

出席者 西尾総長（議長）

井上ゆかり、大塚、金倉、来島、黒田、多田、塚本、豊田、蓮輪、藤井、村木、
金田、田中敏宏、尾上、福田、田中学、水島、山本、井上恵嗣、栗原、大政、熊ノ郷、
有川 各委員

欠席者 國井、仲谷、中野 各委員

議事に先立ち、西尾議長から、11月14日に開催した第2回対話の場及び12月5日に開催した大阪大学シンポジウムへの出席に対する謝辞があった。

議 事

1 事務・技術職員等の高年齢者雇用制度の整備等について

水島委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 昇給制度の見直しがどのように昇任の早期化につながっていくか等、プラスの面を明確に打ち出してはどうか。
- 大学としてのアウトプットを上げるという観点から、現在の定年年齢での退職や再雇用制度の利用に係るインセンティブについても検討する必要があるのではないか。
- シニア層が自身のキャリアを考えるための研修や、高度な活躍を目指すためのリスキリングについても検討してはどうか。
- 昇給制度の見直し及び現在の再雇用制に関して、不公平感が出ない評価・選考の制度が重要になると考えられる。
- 今後、昇任等への影響についてデータを取り、若手のモチベーション維持のためのさらなる対策を検討していくこと、若手の時から自身のキャリアについて考えるように大学側が求めていくこと、職階について見直すことも必要ではないか。
- 事務・図書・技術と医療・看護の間で、いわゆる係員クラスの比率に乖離があることについて、医療現場の人員確保の観点から、今後の課題になるのではないか。

（以 上）